

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	あきる野ルピア
	所在地	東京都あきる野市秋川一丁目8番地
	所管課	教育部生涯学習スポーツ課生涯学習係
指定管理者	名称	株式会社コンベンションリンケージ
	所在地	東京都あきる野市一丁目8番地
	業務内容	①あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用承認等に関すること。 ②あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用に係る利用料金の徴収に関すること。 ③あきる野ルピア施設及び附属設備等の維持管理及び安全に関すること。 ④あきる野ルピア施設及び附属設備等の簡易修繕に関すること。 ⑤生涯学習事業等の実施に関すること。 ⑥その他施設及び事業の管理運営に関して、教育委員会が必要と認めること。
ホームページ URL		http://akiruno-rupia.jp/
指定期間		平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開館等日数(日)	357				
利用者(来客者)数(人)	55,707				
前年度比(人)					
前年度比(%)					
利用料金(売上)合計(千円)	14,436				
前年度比(千円)					
前年度比(%)					

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収 入	指定管理料	9,455				
	利用料金	12,536				
	NHK学園他収入	3,668				
	計	25,659				
支 出	人件費	9,232				
	運営費	9,969				
	施設維持管理費	3,614				
	自主事業関係経費	23				
	その他の支出	-				
	計	22,839				
収支(収入-支出)		2,820				

利用料金および使用料収入については平成26年度内の施設使用について計上している。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
・4月から施設利用者にアンケートを随時実施しました。その他、9月9日（火）に行われた「第3回ルピアJ u k uフェスタ」についても、来館者に満足度アンケートを行いました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
・1階北側出入り口に看板を設置してほしいとの強い要望があり、看板の土台を用意し設置できるよう改善しました。 ・電子ピアノを寄贈してコーラスの練習場所として利用したいとの要望がありましたが、メンテナンスと保管場所の側面から寄贈いただくことができないという結論になり、ご了解いただきました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
・あきる野ルピアを使用し、生涯学習講座を開催している利用者への広報活動支援（名称：ルピア塾）を指定管理変更後も継続して実施し、チラシ等の作成や受講者受付代務などの支援を行いました。その他、ルピア塾講師が出店し、ワンコインで講座を体験できるオープンスクール（名称：ルピアJ u k uフェスタ）を9月に開催しました（来場者数159名）。今年度はヨガの体験コーナーや無料フラダンスショーを特設し、イベントを通して市民へ生涯学習の発信・情報提供をするとともに、受講者確保に繋げるイベントとなりました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
・NHK学園と省エネの取組について具体的な節電対策を協議し、共同で実施しました。また、夏季は扇風機を活用して節電に努め、館内の照明も最低限の使用を徹底しました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
・運営費が計画より増加しているため、光熱費を5%削減できるよう努めます。さらに、裏紙使用の徹底等により、消耗品費を抑えるよう運営してまいります。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
施設利用者や自主事業の来館者へアンケート調査を実施することにより、市民ニーズの把握に努めている。また、生涯学習講座を開催している利用者への広報活動支援を継続して実施しており、施設利用の促進と利用者の利便性の向上を図っている。
経費削減の取組
節電に向けてテナントと協力体制を構築するなど、積極的な経費削減を行っている。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
施設の有効利用を図るため、テナントと協議の上、会議室の空き時間の活用など、施設全体の利用促進に向けた改善策を講じていく必要がある。また、近隣施設との連携により、魅力的な自主事業を実施できているが、地域の活性化や賑わいの創出のため、より多くの機会を提供していくことが望ましい。

総合評価	B
------	----------

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。